



ドーピングはどうしてダメなの？

一般社団法人山口県薬剤師会
薬剤師・スポーツファーマシスト
神谷 浩貴

ドーピングはなぜ、禁止されているのでしょうか。

ドーピングとは、競技力を高めるために、禁止されている物質や方法を使用したり、使用を隠したりする行為をいいます。これらの行為は、健康に悪影響を及ぼしたり、フェアプレーの精神に反したり、社会にとっても悪影響を及ぼす等スポーツの価値を大きく損なうため禁止されています。

そのため、競技や記録の公正さを保つため、厳正なドーピング・コントロールを実施することが世界的に求められてきており、国内最大の総合スポーツ大会である国民スポーツ大会においても、平成15年からドーピング検査が導入されました。また、令和5年から参加する選手、監督、本部役員帯同のスポーツドクター、アスレティックトレーナー、少年種別に出場する選手の保護者には本大会又は冬季大会参加前の1年以内にアンチ・ドーピング教育の受講が義務付けられました。大会直前ですので、すでに受講は済まされているかと思いますが、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）では、参加カテゴリーに応じた教材を案内しています。20分程度のウェビナー動画とクイズでの理解度チェックですので、まだ受講されていない方や改めて確認したい方はご利用してみてもいいでしょう。

国スポ出場者選手及びサポートスタッフ向け教材

JADA ホームページ内の「[CLEAN SPORTS Athlete Site](#)」に掲載されているアンチ・ドーピング教育の教材・動画等を閲覧することでアンチ・ドーピング教育を受けたことになります。動画等を閲覧したら、受講履歴を記録しておきましょう。

【少年の部】



(<https://youtu.be/Uv9yO8bho2M>)

【保護者向け】



(<https://youtu.be/mkz5rJo3AzM>)

【成年の部】



(<https://youtu.be/XGfBjQ00GLU>)

【サポートスタッフ向け】



(<https://youtu.be/z4ie3P3DXs8>)

世界アンチ・ドーピング規定では、アンチ・ドーピング規則違反として、11個の項目が定義されています。これらの項目はアスリートだけが対象になるものではなく、サポートスタッフも対象となるものがあります。

11のアンチ・ドーピング規則違反



クリーンスポーツに参加するための11トピックスウェビナー「アンチ・ドーピング規則違反」

(<https://youtu.be/LTviOf19kEY>)

違反をすると、競技会の成績が取り消されるだけでなく、他の競技会への参加やトレーニング、コーチとして指導に関わるなどのスポーツの活動が一定期間中できなくなります。また、チームで複数人違反者が出た場合には、チームに対して制裁が科される場合があります。

つまり、違反をした本人のみならず、関係者にも大きな影響を及ぼすことになります。このことから、普段から、ルールを理解し守ること・体に摂り入れるものに責任を持つこと・自分の立場と責務を伝えることなどが必要であることを常にアスリートの役割として認識することが肝要です。

参考：日本アンチ・ドーピング機構／クリーンスポーツ・アスリートサイト